

## <日本の语言词汇> -七五三-

这是感谢孩子平安成长 祈愿将来幸福美满的一种仪式。这天, 孩子们身穿「节日盛装」、由家人带着前往「神社」等参拜。神社则把寄托着「长寿」之意的「红白色

## <日本のことば> -七五三(しちごさん) -

子供の無事な成長を感謝し、将来の幸福を願う行事で、子供は「晴れ着(はれぎ)」に身を包み、家族に連れられ、「神社(じんじゃ)」などに参拝します。神社は「長寿(ちょうじゅ)」の意味をこめて、子供に「千歳飴(ちとせあめ)」をわたします。

男の子は三歳と五歳、女の子は三歳と七歳の年に行うのが一般的とされています。七五三は、平安時代頃からの儀式がもと

的棒棒糖(日语:千岁糖)」赠送给孩子们。

此仪式、一般在男孩子三岁和五岁时、女孩子在三岁和七岁时举行。七五三仪式, 来自起源于平安时代时的仪式。一般在11月15日进行祝贺。但在现代、人们并不太拘泥于这天, 也有的则在此前后的假日等进行。

七五三仪式中, 尤其是七岁时的祝贺, 是作为幼儿期结束、被认为是重要的关键时期。在乳幼儿死亡率高的古代、人们认为七岁以前的孩子是神的孩子, 到七岁以后才作为社会的一员得到认可。人们在祝福孩子健康成长的同时, 此仪式还起到促使孩子们自身也能有所感悟。

になっており、11月15日に祝うことが多いようですが、現在はこの日にあまりこだわらず、前後の休日などに行われています。

七五三の中でも、七歳の祝いは、幼児期の最後として重要な節目とされてきました。乳幼児の死亡率が高かった昔は七歳までは神の子とされ、七歳になって初めて社会の一員として認められたそうです。子供の成長を祝うと同時に、子供自身にもその自覚を与えるための行事であるともいえます。